



鳥取大学附属特別支援学校

12月

ふれあいだより



予防に勝る治療なし

養護教諭 長谷高あけみ

現在高等部では、3つのグループに分かれ『卒業後の暮らしⅢ』についての学習が行われています。健康グループは「健康って何だ？」をテーマに自分の体を知り、身体や心の健康づくりを実験や体験を通して考えていきます。これを予防医学の観点では、第1次予防と言います。健康な時期に栄養・運動・休養等生活習慣の改善や健康について学び、健康増進を図ることです。これには予防接種による病気の予防も含まれます。

そして第2次予防として病気の早期発見・治療があります。健診や検診を積極的に受け、病気が診断されるとすぐに治療することです。定期健康診断等がこれにあたり、学校では毎年4月から6月にかけて行います。さらに今年は懇話会のご協力により、卒業後を意識し、高等部3年生と専攻科生を対象に、健診施設での生活習慣病に特化した検診体験を計画しました。（高3は2月実施予定）これは、学校保健から産業保健や地域保健への連携を意識した初めての試みです。

現在、日本人の3大死亡原因は、がん、心疾患、脳卒中などの生活習慣病です。生活習慣病の治療は日々進歩していますが、重要なことは病気に罹らないよう日頃からの予防です。学校での学習や保健管理は大切ですが、子どもの頃からの生活習慣は、予防医学の一番の基礎です。忙しい毎日ですが、栄養・運動・休養を意識した生活習慣の振り返りを各家庭でも一度してみてください。

さて、寒くなり全国的にはインフルエンザによる学級閉鎖もでてきています。予防接種はお済みですか？本校では、手洗い・うがい・咳エチケットを徹底すると共に、昨年流行した新型インフルエンザについても、対応マニュアルを本年度版に一部修正し、職員の共通理解を図り、いざという時に困らぬように努めているところです。

12月行事

2日（木）研究会前日準備 13:00 下校	12～13日 研修旅行（専）
3日（金）公開研究会 11:00 下校	14日（火）振替休業日（専）
6～10日 体重測定週間	ほかほかパーティー（小）
6～17日 校内読書週間	15～16日 介護等体験
7～8日 入学志願書提出（小中高本科）	15日（水）ミュージカル公演（中）
7日（火）マナー研修（高：白兔会館）	ウエルフェア北園渡辺病院へ
土肥先生来校（中）	17日（金）もちつき大会
8日（水）鳥養との交流（中）	ふれあいバザール
中林先生来校	24日（金）全校朝会 ハッピー集会
10日（金）ふよう教室	通常下校
専攻科 14:30 下校	25日～1月8日 冬季休業日



現場実習を終えて

進路指導主事 本城睦子

本年度の中学部から専攻科までの現場実習は、ほぼ終了しました。

中学部では、1年生は校内で5日間作業に取り組み、その期間中に2・3年の先輩の実習先も見学しました。2年生は、1年生と2日間校内で実習した後3日間校外で働き、3年生は5日間ずっと校外で働く体験をしました。それぞれの実習先は、先輩（高等部本科生）たちが働いている作業所を見学して、それを参考にして決めています。高等部の実習につながるよう、実習前、家の人と一緒に通勤練習を兼ねて実習先に挨拶に行く取り組みもしました。一人ずつの目標に向かって充実した実習となりました。



高等部本科は、前期10日間と後期9日間の現場実習を行いました。後期の現場実習で、1年生は初めて9日間という長い期間一人で働く体験をしました。新しい実習先ではそれぞれが徐々に慣れ、最後の日までしっかり働くことができました。

1年生の時には不安を抱きながら実習に臨んでいた2、3年生ですが、これまでの経験を生かして、余裕を持って取り組んでいたように思います。繰り返しの体験で前回以上に上達して行く姿が見られました。一人一人の成長が見られた実習だったように思います。特に3年生は卒業後を見据え、自分らしさが発揮できる進路先をめざし、慎重に考えている真っ最中です。



専攻科は、1年生が2回目の実習を残していますが、2年生は6月と9月に既に行いました。それぞれが落ち着いて取り組み、自分を見つめ直し、修了後の進路を決定しようとしています。

実習を経験し、どの学部 of 生徒にも一人一人の成長ぶりが見られたり、課題が見られたりしました。成長した点は更に伸ばし、課題については次の実習で少しでもよくなるよう、日々の生活に気をつけながら過ごしていきたいものだと思います。

多くの作業所や福祉施設が新体系に移行しつつあります。新しい情報を把握しながら、生徒にとって一番ふさわしい進路を一緒に考えていけたらと思っています。

『今後とも保護者のみなさまのご協力をよろしくお願いします！』